

橋本健一郎氏の7月のアルミレポートおよび8月の見通し

予測レンジ

LME 現物後場買い	1500-1700ドル	↑ 弱い
スクラップ -5から-10円 (前月最終価格より)		↑ 弱い
為替 120-125円 (一か月間)		↑ 円高



橋本アルミ(株) 橋本健一郎

■概況

前半は、F R B イエレン会長が年内利上げ発言をしたこと、ギリシャ首相、7日の日首脳会談で新たな提案を示すことで独首相と合意。一方、独経済相はギリシャがユーロ圏残留の意向があるなら踏み込んだ改革案が必要と釘をさす。などのマイナス材料もあったが、ユーロ圏首脳会議が前日、ギリシャへの金融支援を条件付きで再開することで大筋合意し、投資家のリスク回避姿勢が和らいた事、中国政府による株価維持策の発表を受け、中国株式相場が反発したなどのプラス材料を受けてUP。

7月15日時点1697ドル(現物後場買い)と月初価格から49ドルUPの前半締めとなった。

後半は、中国株が堅調に推移したこと、6月の米新築住宅販売件数は前月比6.8%減の53.8万件、予想下回ったことからF O M C 声明で市場の安定は示したもの 仕上げ時期については年内ないのでは?とのマーケットに認識などのプラス材料もあったが、7月のユーロ圏PMI速報値は総合で53.7に低下、予想の54を下回ったこと。マークイット発表の7月の中国製造業担当者指標P M I が47.8に下方修正されたことや国家統計局発表のP M I が50.2から50.0に悪化した事、7月の米ISM指数が事前予測を下回った事からDOWN。8月1日現在LME(現物後場) 1596ドルと後半スタート価格から69.5ドルDOWNしてのスタートとなった。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート (TTS)

123.45 → 125.08 (円)

◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると自動車生産台数は前年比-5.3%の81万1864台であった。

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前年比-1.3%の28万2293台。

◆新設住宅着工戸数

国土交通省統計によると新設住宅着工戸数は前年比+16.3%の8万8118戸であった。

◆ 貿易指標

輸出

財務省貿易統計によれば輸出はアルミニ新地金が前年比-43.4%の180t、2次合金が-13.7%の1372t、前月比でスクラップが+17.3%の1万2127t アルミ缶が+191.1%の3287t。15年1月からスクラップがスクラップとアルミ缶に仕分けされたため前年比との比較ができず前月比にしております。

輸入

輸入は新地金が前年比+5.8%の15万3800t、二次合金が-0.5%の9万178t、スクラップが-23.5%の693t、合金スクラップは-1.4%の4537t。

■前月の国内指標

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-1.9%の17万5565t、日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績は前年比-6%の6万6368であった。

■概況

【自動車生産】

6月の四輪車生産台数は811,864台で、前年同月の857,415台に比べて45,551台・5.3%の減少となり、12カ月連続で前年同月を下回った。

6月の車種別生産台数と前年同月比は次のとおり。

【乗用車】-683,472台で44,138台・6.1%の減少となり、12カ月連続のマイナス。このうち普通車は425,901台で21,747台・5.4%の増加、小型四輪車は132,849台で23,786台・15.2%の減少、軽四輪車は124,722台で42,099台・25.2%の減少。

【トラック】-115,485台で2,121台・1.8%の減少となり、2カ月連続のマイナス。このうち普通車は52,266台で2,179台・4.4%の増加、小型四輪車は29,354台で223台・0.8%の減少。軽四輪車は33,865台で4,077台・10.7%の減少。

【バス】-12,907台で708台・5.8%の増加となり、4カ月連続プラス。このうち大型は1,044台で381台・57.5%の増加、小型は11,863台で327台・2.8%の増加。

6月の国内需要は442,631台で、前年同月比2.2%の減少であった。

(うち乗用車364,931台で前年同月比3.8%の減少、トラック76,744台で同5.8%の増加、バス956台で同19.9%の増加。)

輸出は前年同月比3.3%の増加。(実績)

【自動車販売】

7月の国内自動車販売台数(軽は除く)は28万2239で前年比-1.3%。4か月連続ぶりマイナス

年累計では-7% 内は乗用車-2%、貨物は+3.9%、バスは+3.3%。

【住宅着工数】

- ・平成27年6月の住宅着工戸数は88,118戸で、前年同月比で16.3%増となった。また、季節調整済年率換算値では103.3万戸(前月比13.4%増)となった。
- ・利用関係別にみると、実数値では、前年同月比で持家、貸家、分譲住宅ともに増となった。季節調整値でも、前月比で持家、貸家、分譲住宅ともに増となった。
- ・住宅着工の動向については、昨年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動もあって、前年同月比で減少が続いているが、このところ前年同月比で4か月連続の増加となっている。なお、季節調整値でみると、18か月ぶりに100万戸を超す数字となった。
- ・住宅着工は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が薄れ、持ち直しているとみている。反動減の影響が大きかった持家についても、2か月連続で増加となった。今般の経済対策等の効果が住宅着工に表れていると思われる。引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

(持家)

前年同月比では2か月連続の増加(前年同月比7.2%増、季節調整値の前月比では9.5%増)。

(貸家)

前年同月比では2か月連続の増加(前年同月比14.6%増、季節調整値の前月比では10.5%増)。

(分譲住宅)

前年同月比では3か月連続の増加(前年同月比31.3%増、季節調整値の前月比では22.1%増)。

(分譲マンション)

前年同月比では3か月連続の増加(前年同月比8.2.8%増)。

(分譲一戸建住宅)

前年同月比では14か月連続の減少(前年同月比2.9%減)。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比-6%の6万6368t。9カ月連続マイナス、出荷は-6.3%の6万6850t 16カ月連続マイナス。

内 出荷先は、鋳物 -8.4% ダイカスト -6.6% 板 +1.7% 押出 +2.8% 鉄鋼-5.6% 合金地金メーカー-6.8%

【アルミ圧延・押出品生産数】 -1.9% 4カ月連続マイナス 17万5565t

板類

(1) 缶材 40,109t(6.8%)

ボトル缶は好調を継続し、一部コーヒー缶のアルミ化による需要増もあり、3ヶ月連続でプラス。

(2) 自動車 12716t(6.6%)：国内乗用車生産台数は減少しているが(5月の生産台数：539千台、前年同月比：▲17.7%)、アルミパネル材を採用する主に高級乗用車等の輸出増加に加え、トラック架台の需要増によりプラスに転ず。

(3) 輸出 19,673t(6.9%)

海外関連工場への素条輸出の増加や円安による輸出環境の好転等により、15ヶ月連続でプラス。

押出類

(1) 建設 40,777t(▲4.4%)：

5月の新設住宅着工戸数はプラスとなったが(5月の着工戸数：71,720戸、前年同月比：+5.8%)、建設全体としては12ヶ月連続でマイナス。但し、マイナス幅は前月の▲15.2% ⇒ ▲4.4%に縮小。

(2) 自動車 11,507t(1.0%) 国内乗用車生産台数は減少しているが、トラック架台の増加等により、9ヶ月ぶりにプラス。

・輸出 2円程度円安が続いている事やLMEアルミの大幅下落から 2次合金、アルミ缶共に輸出増。 地金は生産調整を受けて輸出も減少。

・輸入 合金、スクラップはLME価格、内需の低迷、円安から 減少。地金は小幅増加。

【見通し】

・自動車は生産が前月に続き大減少の-5.3%。6月の国内販売台数が前年比-1.3%生産が1カ月連続マイナスではあるが減少幅は3分の一程度まで縮小。

ただ販売が4カ月ぶりマイナス、輸出が+3.3%。生産がついに1年間前年割れとなった。また期待であった販売の方も4カ月ぶりにマイナス。 生産縮小幅が続くか今後の動向に期待。

・新設住宅着工数は、88,118戸で、前年同月比で16.3%増となった。また、季節調整済年率換算値では103.3万戸(前月比13.4%増)となった。このところ前年同月比で4か月連続の増加となっている。なお、季節調整値でみると、18か月ぶりに100万戸を超す数字となった。消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が薄れ、持ち直しているとみている。反動減の影響が大きかった持家についても、2か月連続で増加となった。今般の経済対策等の効果が住宅着工に表れていると思われる。今後の動向に注目。

・アルミ圧延・押出品生産数 主力の押出 建設部門の悪化を受けて減少。今後の住宅回復に期待

・アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績 自動車系の悪化を受けて減少。自動車が低迷する中、住宅の回復に期待

【スクラップ需給予想】

流通在庫はここ最近の急落を受けて、問屋に塩漬け玉があるものの、価格が合わない事や生産減によるスクラップ発生難を受けて、置き場 資金面から急ぎで売る必要性ない、一方メーカーは必要量の確保ができない所もあり在庫は薄くなるため、